

(様式2)

平成20年度創徳中学校研修計画

研究主題	確かな学力を身につけ主体的に考え行動できる生徒の育成を目指して — 学び合う活動を通して学習意欲を向上させ基礎・基本の力の定着を図る
教科 領域等	全教科 全領域

1 主題設定の理由

本校では、生徒に主体的に考え行動する態度を身に付けさせることが「生きる力」を高めるための一つの大きな道筋であると考えている。

一昨年度より、一人ひとりの子どもが基礎・基本の力を身につけることを目指し、授業改善の工夫等の実践を重ねてきた。また、小学校と連携して児童生徒の学力面における共通の弱みを明らかにし、個々の学習状況をとらえ、つまずきを出来るだけ早い段階で解消する取り組みを進めてきた。さらに、基礎学力の定着をめざした「朝の学習」、学習習慣の定着と補充学習に「創徳タイム」、夏休みの補充学習として「サマースクール」を実施してきた。これらの取り組みを進める中で、ある程度子どもたちの「学習意欲」の向上がみられる等の効果があらわれた。

本年度は、昨年度までの取り組みを深化させ、一層の「学習意欲」の向上をめざし、指導の工夫・改善を行い、より具体的な効果を上げていきたいと考え、引き続き本主題を設定した。

2 子どもにつけたい力

基盤となる学力（読み書き計算等）

各教科における基礎・基本の力

主体的に学ぼうとする力

基盤となる力（生活リズム・基本的生活習慣）及び仲間とともに認め合い支えあう力

3 本年度指導の重点

- ・各教科の授業において、生徒が基礎的・基本的な学習内容を確実に定着するため、学び合う場面の設定などの手立てを講じ、意欲的・主体的に学習する生徒の育成に努める。
- ・生徒一人一人の学習のつまずきを把握し、小学校からの習熟状況をふまえた学習教材を作成したり指導方法を工夫したりする。
- ・学力定着を図る学習支援を行い、基盤となる力を育成する。
- ・地域の学習ボランティアを活用する。

4 具体的な方策

(1) よくわかり意欲的に取り組める授業の実践

- ①既習内容のつまずきを考慮した授業の構築
- ②基礎・基本の定着を重視した授業
- ③「学習意欲」を高める授業づくり

(2) 基盤となる学力の定着

- ①朝の学習
- ②創徳タイムの開設
- ③夏季休業中のサマースクールの開設

(3) 生活習慣の改善

- ①生活実態調査
- ②学校通信や学年通信等での啓発
- ③家庭における学習習慣の確立